

# サツマイモ定植 地域の人と交流

三重県鳥羽市立  
安楽島小学校

【三重・伊勢】鳥羽市立安楽島小学校2年生33人は、JA伊勢鳥羽支店の敷地内の圃場（ほじょう）で、サツマイモ苗の定植を体験した。生活科の授業の一環で、土に触れることで自然に関心を持ち、地域の人との触れ合いを通じて、コミュニケーション能力を育むのが目的だ。

この日に植えたサツマイモは「兼六芋」

で、同市では干し芋の原材料として使用されている品種。児童らはJA職員からサツマイモ苗の定植方法について説明を受けた後、指導を受けながら畝に穴を掘り、サツマイモの苗を斜めに植えて、丁寧に土をかぶせてい



JA職員に教わりながら苗の定植をする児童ら

た。  
参加した児童は「穴を掘って植えるのが楽しかった。収穫が楽しみ」と話した。定植したサツマイモはJAで管理し、10月下旬に収穫する予定だ。